

平成29年度 校長経営戦略支援予算(区担当次長枠)方針

教育委員会事務局教育政策課 西淀川区教育担当

平成29年度 予算要求事業(案)について

1. 課題解決に向けた学校取組支援事業
2. プログラミング教育推進事業

1. 課題解決に向けた学校取組支援事業

(現状)

各校が抱える課題はそれぞれ異なる中で、どの学校も改善に向けた取り組みを進めている。

加算配付という仕組みはあるものの、全校には配付されていない。

校長裁量の拡大

＝課題解決に有効

区として各校の取組を支援し、各校の課題解決を図ることで、区全体の教育環境の充実を目指す。

【事業概要】

児童生徒の学力や体力向上・キャリア教育・教員のスキルアップなど、自校の課題解決に向けた取組みや教育環境の充実のための取組みに対する支援を行う。

実施にあたっての条件(案)

- ・児童生徒の学力や体力向上・キャリア教育・教員のスキルアップなど、自校の課題解決に向けた取組みであること
- ・運営に関する計画に沿った取組であること
- ・各校同額程度使ってもらえるよう1校あたりの上限額を設定
- ・①消耗品、②手数料、③講演会等の報償費に限定
- ・事務手続きを区役所で行うため、手続きの時期、事業の実施時期を限定
- ・申請手続き、実績報告が必要(区がモニタリングを実施)

2. プログラミング教育推進事業

【進む教育の情報化】

総務省	<ul style="list-style-type: none">平成28年度から「若年層に対するプログラミング教育の普及推進事業」を開始
文部科学省	<ul style="list-style-type: none">「2020年度から新しい教育課程を順次実施。プログラミング教育について発達の段階に則した必修化を図る。」と平成28年7月に公表 <p>2020年: 小学校における体験的に学習する機会の確保 2021年: 中学校におけるコンテンツに関するプログラミング学習</p>
大阪市	<ul style="list-style-type: none">「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」が大臣政務官決定にて設置され、山本 晋次 大阪市教育委員会教育長 が委員として参加
西淀川区 の取組	<ul style="list-style-type: none">平成28年度から教育現場での3Dプリンタの活用を検討

【事業概要】

2020年度から新しい教育課程が順次実施され、プログラム教育について発達の段階に則した必修化が図られる予定であるが、導入前の早い段階から区全体で準備を進め、教職員に学ぶ機会を提供し負担軽減を図るとともに、子どもたちや保護者向けに体験の場を提供する。

- ①児童生徒向け体験会
- ②教職員向けプログラミングフェア
- ③親子向け体験会
- ④プログラミング結果を具現化できるツールの一つである3Dプリンタ等のモデル校への貸し出し